

■平成30年度群馬県立図書館サービスに対する評価

公立図書館は、その目的と社会的使命を達成するため、時代の変化や要請に対応しながら、図書館利用者に質の高いサービスを提供していくことが求められています。

このことを実現するため、群馬県立図書館では、当館が目標としている主要なサービスについて、平成24年度から評価指標及び数値目標を設定し、その達成に向けて取り組んできました。

平成30年度の数値目標に対する取り組み結果は次のとおりです。

■図書館サービス評価指標及び数値目標

評価指標		実績	達成状況	評価
		(目標値)		
高度な専門的情報サービスの提供	調査相談件数	6,176件 (6,800件)	90.8%	A
	レファレンス資料受入冊数	608冊 (600冊)	101.3%	A
図書館ネットワークの充実強化	相互貸借冊・点数	13,762冊・点 (14,000冊・点)	98.3%	A
	横断検索システムの検索件数	255,588件 (247,800件)	103.1%	A
県内図書館等に対する支援の充実	学習支援図書貸出冊数	6,528冊 (6,000冊)	108.8%	A
	図書館等職員研修参加人数	266人 (250人)	106.4%	A
群馬県に関する資料・情報の網羅的収集と保存	郷土資料受入冊数	2,155冊 (2,400冊)	89.8%	B
	デジタルライブラリーへのアクセス件数	15,004件 (14,000件)	107.2%	A
情報発信の充実等	ホームページ更新件数	172件 (180件)	95.6%	A
	メディア掲載件数	67件 (95件)	70.5%	B
	ビブリオバトル参加者数	166人 (125人)	132.8%	A

年度終了後、数値目標の達成状況を基に次のとおり3段階で評価する。

平成30年度群馬県立図書館 運営評価の各指標の進捗状況

評価	評価内容	評価の目安
A	数値目標を達成し、期待する成果があった。	90%以上
B	数値目標をほぼ達成し、一定の成果があった。	70%以上90%未満
C	数値目標が達成できず、成果が不十分であった。	70%未満

1. 高度な専門的情報サービスの提供

① 調査相談件数

指標の説明	調査相談機能の強化とさらなる充実を目指すため、県立図書館の重要な業務の一つであるレファレンスサービスのうち、利用相談（書架案内や所蔵調査）を除く調査相談（事柄や事実調査、文献調査などの専門的情報提供サービス）の件数を指標として設定する。		
平成30年度 目標値の 達成状況	目標値	実績	達成状況 ・ 評価
	6,800件	6,176件	90.8% A
目標値設定 の考え方	調査相談室、地域協力係及び各カウンターで対応した調査相談件数について、平成29年度実績を維持する。		
評価分析	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネット等手軽に利用できる検索ツールが増えてレファレンス件数は減る傾向にあるが、質問内容はより高度で専門的になり、調査には時間と技術が必要になっている。 ・OJT（職場内研修）の実施、外部研修への参加により職員のスキルアップを図った。 ・レファレンス記録を県民・県内図書館職員とインターネット上で共有できる「調査相談事例・郷土人物データベース」の充実に努めた。 ・「国立国会図書館サーチ」「レファレンス共同データベース」などのサービスを積極的に活用し、高度なレファレンスへの回答に努めた。 ・県内の公共・学校・大学図書館の担当者に対し協力レファレンスの周知に努めた。 		

② レファレンス資料の受入冊数

指標の説明	高度な専門的情報サービスを提供する図書館として、多様なレファレンスに対応するため、様々な分野の辞書事典類・白書・統計書・年鑑・図鑑等を収集する。		
平成30年度 目標値の 達成状況	目標値	実績	達成状況 ・ 評価
	600冊	608冊	101.3% A
目標値設定 の考え方	平成29年度受入実績を維持する。		
評価分析	<ul style="list-style-type: none"> ・辞書・事典、統計書、白書、年報、図鑑等、レファレンス資料の重点的な購入を行った。 ・受入実績608冊のうち、購入は452冊であり、平成29年度比116%であった。資料費の増額により、幅広い分野のレファレンス資料を購入することができた。 		

2. 図書館ネットワークの充実強化

① 相互貸借冊・点数

指標の説明	利用者の利便性を図るために、県立図書館、市町村立図書館(室)、大学図書館、学校図書館及び県外の図書館等の資料の相互貸借を行う。		
平成30年度 目標値の 達成状況	目標値	実績	達成状況 ・ 評価
	14,000件	13,762件	98.3% A
目標値設定 の考え方	平成29年度目標の5%増加を目標値とする。		
評価分析	<ul style="list-style-type: none"> ・貸借依頼への迅速な対応で利便性を高めるとともに、相互貸借担当者会議や学校図書館関係者実務研修会等で事業の周知を図っている。 ・特に長年の懸案であった県高等学校教育研究会図書館部会の加盟校(一部私立高校を除く県内高校・中高一貫校)の中で、H29年度に県立高校は全校が参加となり、県立高校事務長会等で相互貸借の利用促進の周知を行った。 		

② 横断検索システムの検索件数

指標の説明	県立図書館の横断検索システムは、県内図書館の資料を一元的に検索できるシステムであり、その利用の多少が図書館利用の一つの目安となる。		
平成30年度 目標値の 達成状況	目標値	実績	達成状況 ・ 評価
	247,800件	255,588件	103.1% A
目標値設定 の考え方	平成29年度実績の5%増を目標値とする。		
評価分析	<ul style="list-style-type: none"> ・横断検索システムと連動する相互貸借システムの周知、利用促進のため、県内図書館員を対象に、平成30年度相互貸借担当者会議において操作説明会を実施した。 ・図書館HPのトップバナーに、横断検索へのリンクを追加し、横断検索の利用促進を図っている。 		

3. 県内図書館等に対する支援の充実

① 学習支援図書貸出冊数

指標の説明	小・中・高等学校における教科学習、総合的な学習時間などの学習活動を支援するために学校図書館等に対して図書の貸出を行う。		
平成30年度 目標値の 達成状況	目標値	実績	達成状況 ・ 評価
	6,000冊	6,528冊	108.8% A
目標値設定 の考え方	平成29年度実績の2%増加を目標値とする。		
評価分析	<ul style="list-style-type: none"> ・セット数を前年度の223セットから、新たなテーマのセット（ボランティア・障害者スポーツ・古典物語など）を加え、243セットとし、学校が利用しやすいように努めた。 ・小中学校への貸出、返却に際しては、最寄りの公共図書館等まで協力車で配送できることをHPや研修会等で周知しており、利用が増加している。 		

② 図書館等職員研修の参加人数

指標の説明	<p>①図書館(室)職員司書実務研修 県図書館協会加盟団体所属の各図書館等に勤務する職員を対象に、職務上必要な実務的な知識や技術を身に付け、資質の向上を図る研修を開催する。</p> <p>②学校図書館関係実務研修 学校図書館に勤務する職員を対象に、子どもの読書活動を推進し、魅力ある学校図書館づくりをするための研修を開催する。</p>		
平成30年度 目標値の 達成状況	目標値	実績	達成状況 ・ 評価
	250人	266人	106.4% A
目標値設定 の考え方	①、②ともに年2回開催、平成29年度の1回当たりの平均参加人数を参考に、今年度の目標値を算出する。		
評価分析	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館(室)職員実務研修では、前期研修において、書店員を講師に招き、書籍のディスプレイ方法や宣伝用のポップの書き方など、書店ならではの視点で講義してもらい、参加者から好評の研修となった。 ・学校図書館研修会では、前年度の研修後のアンケートを参考にテーマや講師を工夫した。 <p>今年度、2回の研修会後のアンケートでは「とても満足が54.7%」、「満足が45.3%」、「不満またはとても不満は0%」という結果であった。</p>		

4. 群馬県に関する資料・情報の網羅的収集と保存

① 郷土資料受入冊数

指標の説明	群馬県関係資料の県内最終保存館として、図書資料・視聴覚資料を問わず群馬県関連資料を網羅的に収集する。		
平成30年度 目標値の 達成状況	目標値	実績	達成状況 ・ 評価
	2,400冊	2,155冊	89.8% B
目標値設定 の考え方	平成29年度実績を維持する。		
評価分析	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞等を通じて郷土資料の出版情報をつかみ、個別に寄贈依頼を行って収集に努めた。 ・県内美術館・博物館等に対し、未所蔵の図録・紀要等出版物の寄贈について依頼を行った。 ・引き続き、県内各地にかかわる資料の網羅的な収集に努めていきたい。 		

② デジタルライブラリーへのアクセス件数

指標の説明	郷土資料や貴重書をデジタル化してインターネット上で公開するデジタルライブラリーにより、所蔵資料の保存と利用の促進を図る。		
平成30年度 目標値の 達成状況	目標値	実績	達成状況 ・ 評価
	14,000件	15,004件	107.2% A
目標値設定 の考え方	平成29年度実績を維持する。		
評価分析	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルライブラリーの登録件数は、現在1,111点となっている。 ・昨年度から引き続き、資料保存と学術的な利用価値から、中島文庫（国政研究会資料）のデジタル化と追加登録を実施した。 		

5. 情報発信の充実

① ホームページ更新件数

指標の説明	県立図書館で実施する事業や活動など、ホームページのイベント情報等を通じ、積極的な情報発信を行い、利用の促進を図る。		
平成30年度 目標値の 達成状況	目標値	実績	達成状況 ・ 評価
	180件	172件	95.6% A
目標値設定 の考え方	平成29年度実績に、「新着資料のお知らせ」掲示にかかる更新分を加え、目標値とする。		
評価分析	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業実施報告や館内展示等の情報提供機会を増やすなど積極的な情報発信を心がけ、ホームページ内容の充実を図った。 ・ 平成30年4月以降、「新着資料のお知らせ」を写真入りで毎週ホームページにアップし、資料の利用促進を図っている。 		

② メディア掲載件数

指標の説明	県立図書館で実施する資料展示等の事業やボランティア活動などについて、新聞社等に積極的な情報発信を行い、利用の促進を図る。		
平成30年度 目標値の 達成状況	目標値	実績	達成状況 ・ 評価
	95件	67件	70.5% B
目標値設定 の考え方	平成29年度実績の5%増加を目標値とする。		
評価分析	<ul style="list-style-type: none"> ・ 30年度の目標値95件に対して実績が67件と目標値を下回った。これは29年度の実績に「学校誌、記念誌の切り取り被害」、「県立図書館所蔵レコードの外部書庫への移管」、「CDの盗難」など事件性のあるマイナス面の記事が多数含まれていたことに起因するものである。 ・ 今後はこうした偶発的な事件性の記事を除いて、適切な目標値を設定することとしたい。 		

③ ビブリオバトル（新規事業）参加者数

指標の説明	読書の楽しみを共有する手段としてのビブリオバトルを通し、子どもたちの自主的・自発的読書活動の推進を図る。		
平成30年度 目標値の 達成状況	目標値	実績	達成状況 ・ 評価
	125人	166人	132.8% A
目標値設定 の考え方	平成28年度の初回の実績を維持する。		
評価分析	<p>・平成28年度から開催している「全国高等学校ビブリオバトル群馬県大会」について、県大会出場をかけた予選会が県高等学校教育研究会図書館部会の県内9地区全てで開催されるなど、高校においてビブリオバトルに関する活動が盛んになった。</p> <p>また、報道機関への情報提供や昨年度バトル本の館内展示・貸出等、PRを行ったことにより、目標値（初回実績）を大幅に上回る参加者となった。</p>		